



ルーエハイム デイ通信

あゆみ

平成23年 5月発行

第 22 号

社会福祉法人 博愛会
デイサービスセンター ルーエハイム



風薫る季節となってまいりました。暦の上では早や立夏とか。うっすらと汗ばむ時期となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。八十八夜を過ぎ、新茶の季節となりました。霜の降りなかった新芽を摘んだ新茶の味は格別です。お茶の味にはうるさいご利用者様も、新茶の香りに誘われて、いつもよりお代わりが多いそうです。今月も楽しいデイサービスでの様子をお届けいたします。ご一読下さい。

* 月に1度おやつ作りをしています * 4月 25日(月) こいのぼりワッフル作り



今回はホットケーキを薄めに焼き、中に生クリーム・小豆を混ぜたクリームを挟んで包んだこいのぼりワッフルを作りました。

仕上げにチョコペンを使いこいのぼりの模様を書いていただきました。「難しいなあ」と緊張で震える手で、一生懸命仕上げてくださいいただいたこいのぼりワッフルは、味もおいしいと好評でした。



* 毎月 10日はトモの日! * 5月 10日(火) 春の山菜御膳

☆ 山菜おこわ

☆ 鯖の竜田揚げ彩り野菜あんかけ

☆ 筍とふきの土佐煮

☆ わけぎのぬた和え

☆ ミニ茶そば



甘納豆入り黒糖蒸しパン

☆ 一口メモ ☆

今回ふんだんに使用した「山菜」。

山菜はあくを強くもったものがあり、いったん茹でて水ざらしをしてから使用したほうがよいものが多いのが特徴です。野菜と同様、和え物、炒め物、揚げ物、汁物、鍋物など幅広い料理に使用されます。春の山菜は、食べると「冬のからだから春のからだに変わる手助けをする」と言われています。

サービス利用・デイ通信へのお問い合わせは

〒510-0266 鈴鹿市長法寺町字権現 763

E-mail ruheheim@circus.ocn.ne.jp

Tel 059-372-3811(代) fax 059-372-3814

ホームページ <http://www.ruheheim.com>

※ ホームページ スタッフブログの“ルーエハイム通い”では、デイサービスセンターの行事等を紹介しています。





* デイサービス 5月行事「ルーエハイム風いばら餅作り」*



5月5日(木)端午の節句に、ルーエハイム風いばら餅を作っていただきました。上新粉と白玉粉、砂糖に熱湯を加えてよく混ぜ、電子レンジで加熱し、餡をのせていばらの葉で包んでいただきました。皆様は、昔取った杵柄とばかりに次から次へと手際よく、見た目もすばらしいいばら餅が、あれよあれよという間に出来上がり、皆様でおいしくいただきました。



* ボランティアさんが来てくれました *



5月16日(月)「リーベ」の皆様9名においていただきました。童謡・唱歌や懐メロを合唱していただき、ご利用様はもちろんのこと、聞きつけた職員が次々にテイルームを訪れ、しばらくの間その歌声に聞き惚れていました。「あの人は上手やなあ」「ええ歌を聞かせていただきました」「あれだけ歌える人はなかなかおらん」と皆様感心しきりで、「また聞かせてほしいです。今度はいつですか?」と職員に尋ねる方もいらっしゃいました。楽しい時間をありがとうございました。

♪ デイサービスセンターでは音楽療法を行なっています(週1回隔週の水・金曜日) ♪

♪ 屋根より高い こいのぼり～ ♪

5月といえば“こいのぼり”ですね！
音楽療法士が小さなこいのぼりをお見せすると「ああこいのぼりやなあ」「あれ？これは屋根より低いぞ」「ひごいがおらんなあ」と歌詞と見比べながら、こいのぼりを眺めてみえました。
「最近はこのぼりを飾る家も少なくなったでなあ」と昔を懐かしみながら、皆様に「こいのぼり」を歌唱しました。



by 音楽療法士 A・K

◆ デイサービスから ◆

デイサービスでは日曜日以外、月曜日から土曜日まで(祝日も)、毎日送迎の車を走らせています。鈴鹿・亀山・津にお住まいの方で西は安知本町、山下町、北は太森町、岡田町、東は磯山町、そして南は芸濃町、河芸町までをおおよその範囲として、お迎え・お送りをさせていただきます。

この範囲以外にお住まいの方でもどうぞお気軽にお問い合わせ下さい。可能な限り、ご要望に応じさせていただきます。お問い合わせは、ご本人様でもご家族様でも結構です。お待ち致しております。

電話番号 059-372-3811(代) 担当 ^{なす}那須

5月のゴールデンウィークも過ぎ、山野の緑は一段と濃さを増しました。麦の穂が生長して稔りの時が近づき、南の方からは梅雨も始まります。万物が次第に長じて、天地に満ち始める頃だそうです。夏着の用意をしたり、冬布団を仕舞ったりなどで家事に忙しくされていらっしゃると思いますが、今年はまだもうひとつ、節電にも取り組まなければなりません。気骨が折れることもありますがどうぞご自愛を。

那須・佐々木